

技術・家庭科(技術分野) 担当教員：富山

使用教材：教科書、プリント、実習教材

R7

【技術分野の目標】

※技術・家庭科の「学年末テスト」はありません。

- (1) 材料、加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術についての知識・技能を身に付け、技術と社会、環境との関わりについて理解する。
- (2) 生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1年	ガイダンス		生活や社会を支える材料と加工の技術		夏休み	材料と加工の技術による問題解決			社会の発展と材料と加工の技術	冬休み		生活や社会を支える情報の技術	学年計35h
	・技術の役割 ・技術と環境		・材料や加工の特性等の原理・法則 ・材料の製造、加工方法等の仕組み ・技術に込められた問題解決の工夫			・問題の発見と課題の設定 ・設計の具体化、製図、製作、検査、点検 ・製作や過程の評価、改善・修正			・技術の概念の理解 ・技術の評価、選択、管理・運用			・情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則 ・情報モラルの必要性	
2年	カワイレ大根栽培を通じた育成環境の調節 社会の発展と生物育成の技術				夏休み	ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決				冬休み		計測・制御のプログラミングによる問題解決	学年計35h
	・育成する生物の成長、生態や特性等の原理・法則 ・育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組み ・栽培、検査、過程の評価、改善・修正					・情報通信ネットワークの構成、情報のデジタル化や処理の自動化 ・システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な仕組み ・プログラムの制作、動作の確認、制作や過程の評価、改善・修正						・計測、制御システムの仕組み、情報処理の具体化の手順 ・プログラムの制作、動作の確認、デバッグ等 ・制作や過程の評価、改善・修正	
3年	生活や社会を支えるエネルギー変換の技術				夏休み	エネルギー変換の技術による問題解決				冬休み		社会の発展とエネルギー変換の技術 社会の発展と情報の技術	学年計17.5h
	・電気、運動、熱の特性等の原理・法則 ・エネルギー変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み ・保守点検の必要性、技術に込められた問題解決の工夫					・電気回路、力学的機構等の構想 ・問題の発見、課題の設定、設計の具体化、製作・実装・点検・調整 ・製作や過程の評価、改善・修正						・統合的な問題解決 ・技術分野の学習のまとめ ・卒業制作	

○授業について 毎時間、教科書とタブレット端末(充電されたもの)を持参しましょう。タブレットは令和の“文房具”です。特に指示がなくても必ず毎時間持ってきてきましょう。(使わない時間もあるかもしれませんが、技術の授業では他教科より多く活用します。) ○生徒のみなさんに ・持続可能な社会、地球にしていけるために、常に環境に配慮したものづくりや買い物を心がけましょう。	○家庭学習について ・評価・評定材料は定期テストだけではなく、定期テストの取り組み・得点は大きく反映されます。1,2学期の「期末テスト」では、ハンドノートを中心に復習しましょう。 ○試験前の取り組みについて テスト問題は記号選択問題が中心ですが、記述問題もあります。記号選択問題では選択肢が一見複雑ですが、授業内容を整理しておけばすぐに選択可能なものばかりです。ハンドノートを中心にしっかりと復習をしましょう。
--	---

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性
評価観点	生活と、「材料や加工の技術」、「生物育成の技術」、「エネルギー変換の技術」、「情報の技術」の関わりについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けているかどうか。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けているかどうか。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向け、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造しようとしているか。うまくいかないことに対してどのように発言し、話し合い、作業しているか。粘り強く取り組んでいるか。
評価資料	・定期テスト ・授業観察 ・製作品、制作品 ・調べ学習レポート	・定期テスト ・授業観察 ・製作品、制作品 ・各種レポート (※作物生育状況ではない) ・工程表、設計図等	・授業観察 ・振り返りカード等 ・各種レポート ・ワークシートの記述内容の変化等
	上記の評価資料一覧は年間を通じてのもので、題材ごとに多少異なりますが、授業で説明します。評定は、技術・家庭科を合わせて算出します。		